

青野沢川河川災害復旧工事（その1）

2016年2月 工事だより

工期：2014年12月17日 ~ 2017年3月24日

工事進捗状況

工種	進捗率	備考
河川土工	42.8 %	掘削、盛土
護岸工	2.7 %	基礎工、法覆護岸他
排水工	0.0 %	水路、管路、樹他
付属構造物工	0.0 %	階段他
構造物撤去工	28.1 %	無筋コン、鉄筋コン
地盤改良工	0.0 %	地盤改良
樋門・樋管本体工	0.0 %	樋門・樋管4基
鋼橋上部	0.0 %	鋼単純非合成箱桁橋他
橋梁下部	0.0 %	橋台2基、場所打ち杭
構造物撤去工	0.0 %	旧橋撤去
仮設工	9.2 %	工事用道路、水替え他

今月のトピックス

いろいろな鋼矢板の施工法

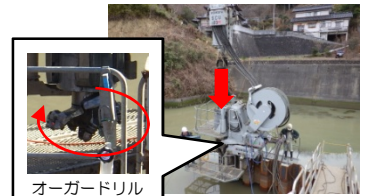
川の水を遮断する鋼矢板ですが、いろいろな施工方法があります。当初は、パイロハンマー工法を採用していましたが、非常に硬い岩盤層が出現したため、現在は「硬質地盤クリア工法」で工事を進めています。

パイロハンマー工法



特徴：一般的な施工方法。鋼矢板を振動力により打ち込む工法。

硬質地盤クリア工法



特徴：オーガードリルで岩盤を掘削しながら、鋼矢板を圧入。硬質地盤にも対応可能

施工状況



右岸全景写真

仮締切り完了箇所は、既存堤防の撤去を行っています。盛土部は、樋管の掘削を開始しました。

樋管掘削工



盛土した部分を掘削

基礎地盤の圧密沈下を確認した後、掘削を開始しました。掘削完了後、内径1300mmの樋管を設置していきます。

構造物撤去工



元の川底の高さ

川底の奥深くまで堤防が入っていました。

見えていなかった部分の堤防は、意外に大きいです。古い堤防を撤去した後、新しく大きい堤防を作っていきます。

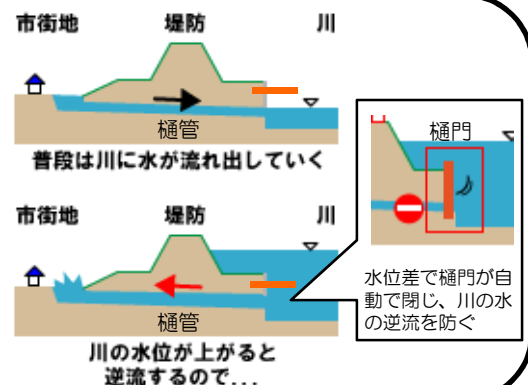
工事担当者から一言



工事担当 西村 直人

樋管とは堤防の中を通るトンネルです。堤防の内側の水を川へと流す役割があります。本工事では、初めに堤防盛土を行った後、盛土を掘削して、樋管を施工します。どうせ掘削するのに、何故わざわざ土を盛ったのでしょうか？

それは、初めに樋管を設置してから盛土をしてしまうと、樋管が大きく沈下してしまうからです。そのため、初めに盛土を行い、基礎地盤を圧密沈下させる必要があるのです。間違ったから掘り直しているわけではありません(^o^)



連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町出山240-5
電話：0226-31-3201 FAX：0226-31-3510

人と地球の架け橋に

竹中土木